

point

2008年2月期(第58期)
経営報告(中間期)
下期経営方針

2007年10月5日

① 売上高は前年同期比20.8%増

➡ 国内既存店売上前年同期比95.6%(計画比△0.4ポイント)

② 売上総利益率改善。前年同期比1.2ポイント向上

➡ アウトレット商品の販売力強化が奏効

③ 販管費率上昇。前年同期比3.3ポイント上昇

➡ 人材の積極的な前倒し採用が大きく影響

point

- ファッショントレンドの見極めが難しかったこと
 - ～大きなトレンドの不在
 - ～中国旧正月の影響でタイトな在庫でスタート
- 成功体験が変化を妨げたこと
- 布帛(フハク)への対応が後手に回ったこと



- 主力アイテムのMD・発注量・価格・タイミング等を営業本部として十分検証・確認
- 当社の強みである店頭基点のMDを改めて確認
 - ～マーケットレポート等で情報を共有

point

- 自社サイトでのEコマース事業の準備完了
➡ 2007年10月1日より自社サイトで6ブランドスタート
- 台湾に続く海外マーケットへの展開を検討
➡ 香港・上海での出店に向けて調査・検討
- グローバルワーク中心に出店強化、改装も積極的に実施
➡ 国内出店46店舗、改装15店舗、9月改装OPEN20店舗
- 新卒の採用積極化、社員登用制度の活性化
- J-SOX対応の内部統制システムの整備、社外取締役招聘

point

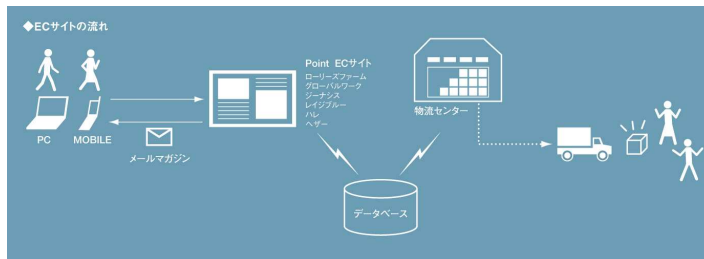
Eコマース事業の本格展開

5

2007年10月1日からインターネットショッピングサイトをオープン

■リアル店舗からのメールマガジンの送付や、お客様やスタッフからのコーディネート投稿により、リアル店舗との相乗効果を図りつつ展開する計画

■グループ物流機能の活用により、スピーディーに商品をお届け



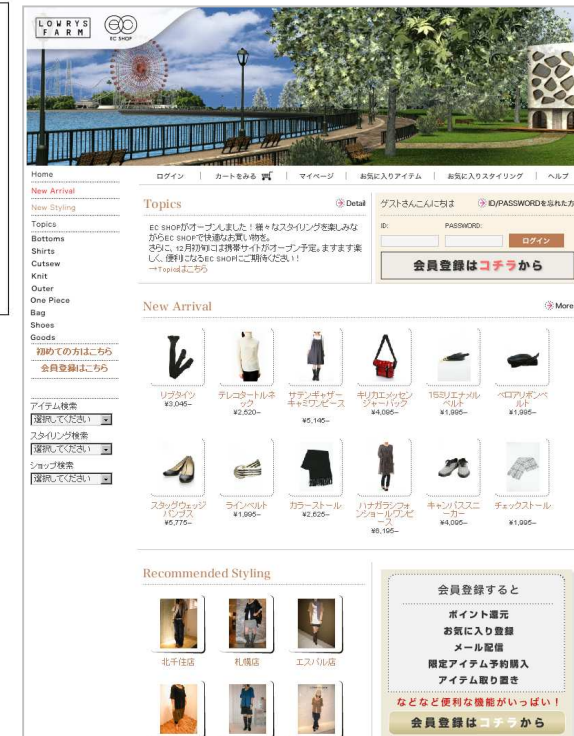
■10月より6ブランドで展開

■12月には携帯サイトがオープン

■来春より残り3ブランドも展開予定



www.lowrystfarm-ec.jp
www.globalwork-ec.jp
www.jeanasis-ec.jp
www.rageblue-ec.jp
www.hare-ec.jp
www.heather-ec.jp



point

大型店舗へのチャレンジ

- ・グローバルワークで大型店の出店
～グローバルワーク船橋(ららぽーと船橋)230坪
- ・グローバルワークが複数のカセットを持つことで新たなステージに

本部直轄店舗の設置

- ・大型店舗・コア店舗を中心に本部直轄店舗とし、本部とのコミュニケーション強化
- ・エリアマネジャーは若手店長の店舗を重点的にフォロー

J-SOX対応の内部統制システム確立の推進

- ・下期中に業務プロセスの可視化に目処をつけ、第60期からの制度対応に備える。

point

point

2008年2月期(第58期)
営業報告(中間期)

2007年10月5日

売上高の状況

8

売上高 **320** 億円 前年同期比 **120.8**%

新規店舗出店

純増42店舗

既存店の継続的な改装

改装15店舗

国内既存店前年同期比95.6%

客数・客単価の状況(国内)

(対前年同期比%)

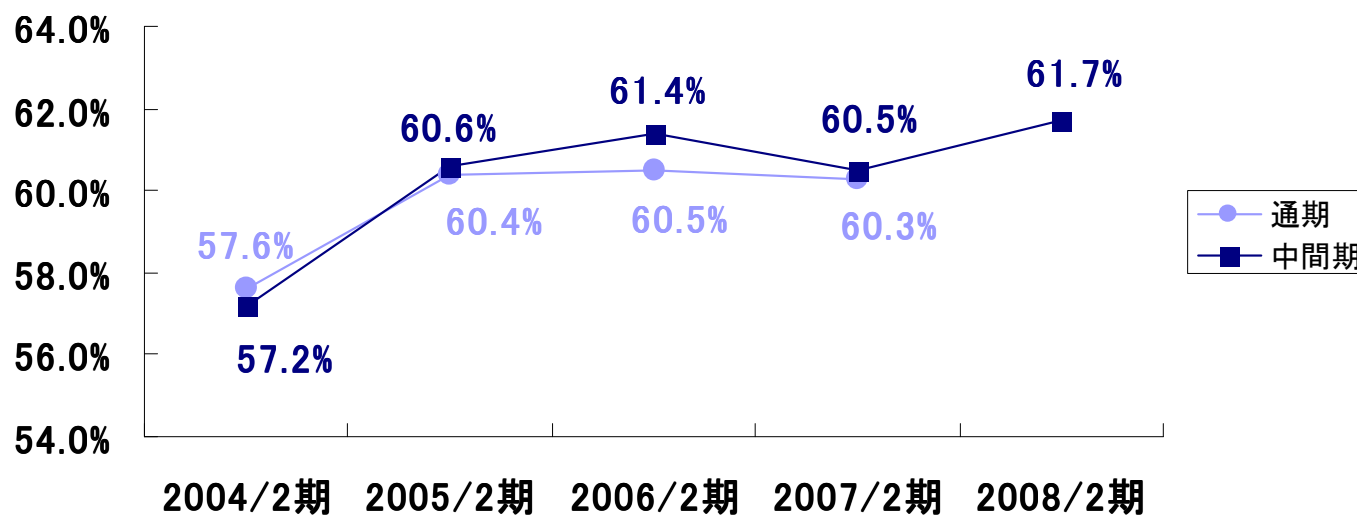
		2006/2期		2007/2期		2008/2期
		上期	下期	上期	下期	上期
全店	売上	129.3	130.4	118.1	131.7	120.6
	客数	123.9	133.2	112.1	126.7	120.5
	客単価	104.4	97.9	105.4	104.0	100.1
既存店	売上	109.4	112.1	104.1	107.1	95.6
	客数	104.8	115.0	99.8	103.9	96.7
	客単価	104.4	97.4	104.4	103.1	98.9

point

売上総利益率の状況

9

売上総利益率 **61.7%** 前年同期比 **1.2**ポイント向上



アウトレット商品の販売力を強化

- ・商品廃棄をミニマイズ
- ・アウトレット商品販売の利益率も改善

point

売上総利益率の改善要因

10

前期

各ブランド売上成長

ミスマッチ

アウトレット販売キャパ

商品鮮度重視

廃棄処理

当期

- ナインブロックスのアウトレット商品販売力強化
- ナインブロックス店舗数拡大(LFアウトレット2店舗出店)

廃棄処理ミニマイズ・アウトレット利益率改善

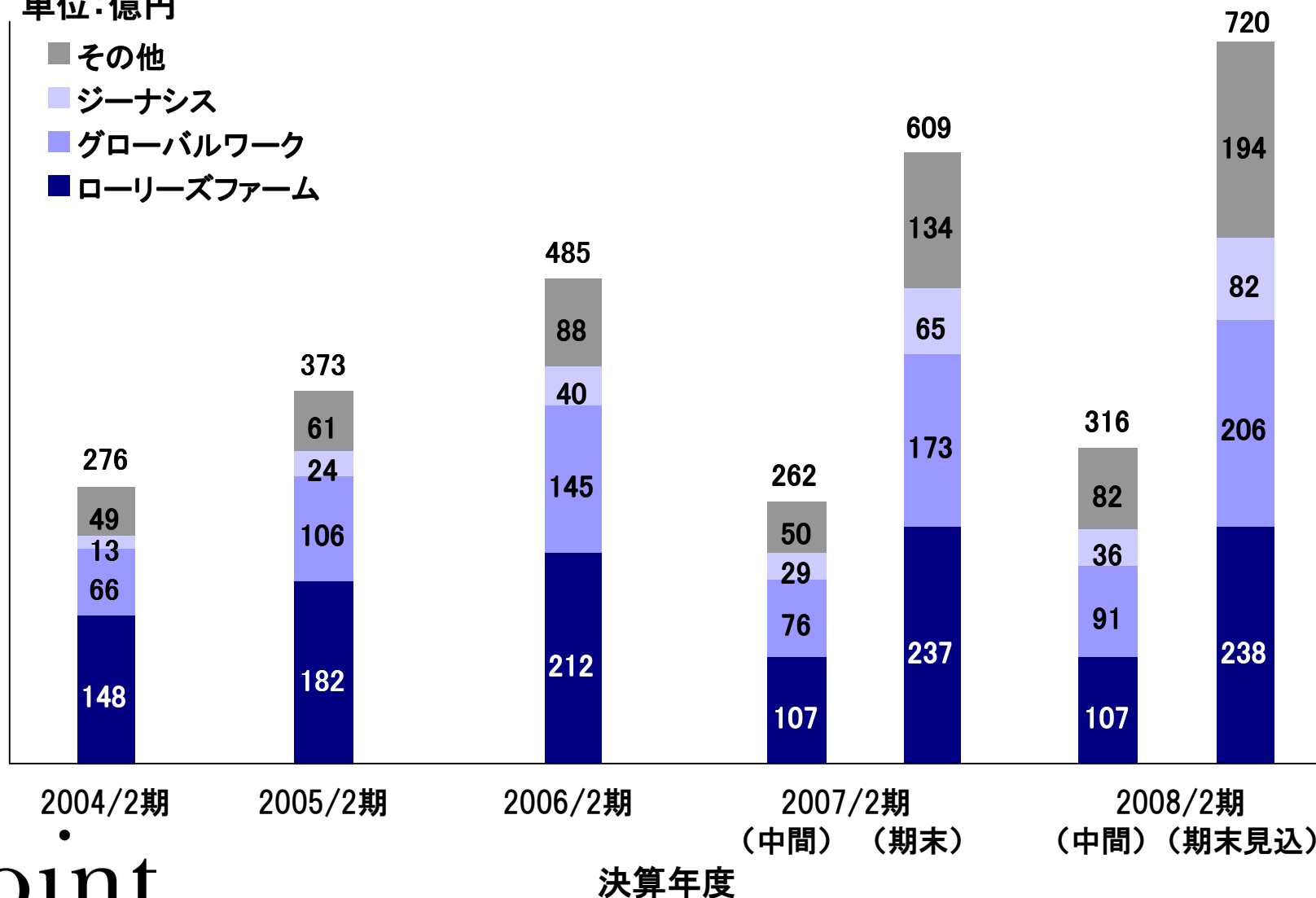
point

ブランド別の売上高の推移(国内)

11

単位: 億円

- その他
- ジーナシス
- グローバルワーク
- ローリーズファーム



point

ブランド別出店・売上状況(国内)

12

単位:百万円	2007/2中間期		2008/2中間期				
	売上高		期首 店数	売上高			中間 期末 店数
		構成比			構成比	前中間 期比	
レイジブルー	2,077	7.9%	29	2,492	7.9%	119.9%	32
グローバルワーク	7,646	29.1%	104	9,155	28.9%	119.7%	119
ローリーズファーム	10,749	41.0%	104	10,790	34.1%	100.4%	106
ジーナシス	2,920	11.1%	45	3,654	11.5%	125.1%	50
ヘザー	980	3.7%	24	1,427	4.5%	145.6%	28
ハレ	968	3.7%	20	1,422	4.5%	146.8%	22
アパートバイロース	209	0.8%	9	883	2.8%	421.5%	13
アンダーカレント	40	0.2%	9	566	1.8%	1,408.0%	11
レプシムローリーズファーム	66	0.3%	6	605	1.9%	921.9%	10
アグレア・ナインブロックス	603	2.3%	12	684	2.1%	113.4%	13
合計	26,262	100.0%	362	31,683	100.0%	120.6%	404

point

ブランド動向ー主要3ブランド

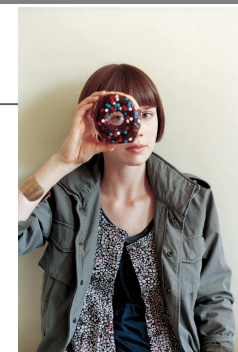
13

ローリーズファーム



積極的な増床改装継続

- ▶ 内装イメージ見直し改装を加速
- ▶ 自社eコマース販売を開始

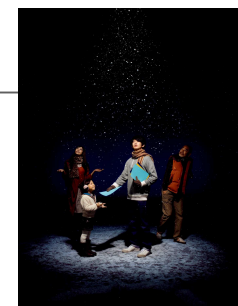


グローバルワーク



積極出店(15店舗出店)

- ▶ 積極出店(11店舗計画)により更なる成長へ
- ▶ 大型店(230坪)の出店チャレンジ



ジーナシス

JEANASIS

トレンドへの変化対応で成長継続(売上高前年同期比 25.1%増)

- ▶ ジーナシススタイルの浸透



point

ブランド動向 — 主要3ブランドに続くブランド育成

14

レイジブルー

RAGEBLUE

知名度向上し安定成長(売上高前年同期比 19.9%増)

- ▶ 郊外立地への積極出店
- 台湾での知名度向上が課題



ヘザー

Heather

ブランドイメージが定着し成長継続(売上高前年同期比 45.6%増)

- ▶ 出店エリア拡大により顧客拡大

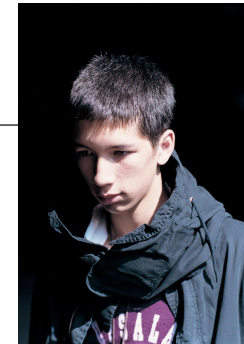


ハレ

HARE

トレンドへの変化対応で成長継続(売上高前年同期比 46.8%増)

- ▶ インターネット販売を強化継続



point

アパートバイローリーズ

—— apart by lowrys ——

市場ニーズを的確に捉え急成長(売上高前年同期比 421.5%増)

■ 出店地域の拡大が課題



アンダーカレント

—— UNDERCURRENT ——

レディースは市場ニーズに対応

■ メンズの市場ニーズ対応が課題



レプシムローリーズファーム

—— L E P S I M ——
LOWRYS FARM

ブランドイメージが支持され好調な滑り出し

■ 単独ブランドとして品種拡大

・ 郊外立地出店加速で店舗数拡大(11店舗計画)



point

ブランド別出店・売上計画(国内)

16

単位: 百万円	2007/2期			2008/2期計画(当初)				2008/2期計画(修正)			
	売上高		期末 店数	売上高			期末 店数	売上高			期末 店数
		構成比			構成比	前期比			構成比	前期比	
レイジブルー	4,912	8.1%	29	6,200	8.7%	126.2%	39	6,100	8.5%	124.2%	39
グローバルワーク	17,371	28.5%	104	20,600	29.0%	118.6%	129	20,600	28.6%	118.6%	130
ローリーズファーム	23,728	38.9%	104	23,800	33.5%	100.3%	111	23,800	33.0%	100.3%	111
ジーナシス	6,504	10.7%	45	7,700	10.8%	118.4%	57	8,200	11.4%	126.1%	55
ヘザー	2,570	4.2%	24	3,200	4.5%	124.5%	31	3,600	5.0%	140.1%	33
ハレ	2,881	4.7%	20	3,500	4.9%	121.5%	22	3,300	4.6%	114.5%	25
アパートバイロリーズ	958	1.6%	9	1,900	2.7%	198.3%	17	2,000	2.8%	208.8%	13
アンダーカレント	456	0.7%	9	1,400	2.0%	307.0%	11	1,100	1.5%	241.2%	11
レブシムローリーズファーム	368	0.6%	6	1,500	2.1%	407.6%	21	1,700	2.4%	462.0%	21
アグレア・ナインブロックス	1,203	2.0%	12	1,200	1.7%	99.8%	13	1,600	2.2%	133.0%	15
合計	60,957	100.0%	362	71,000	100.0%	116.5%	451	72,000	100.0%	118.1%	453

point

point

2008年2月期(第58期)
決算概要(中間期)

2007年10月5日

損益計算書の主要項目

18

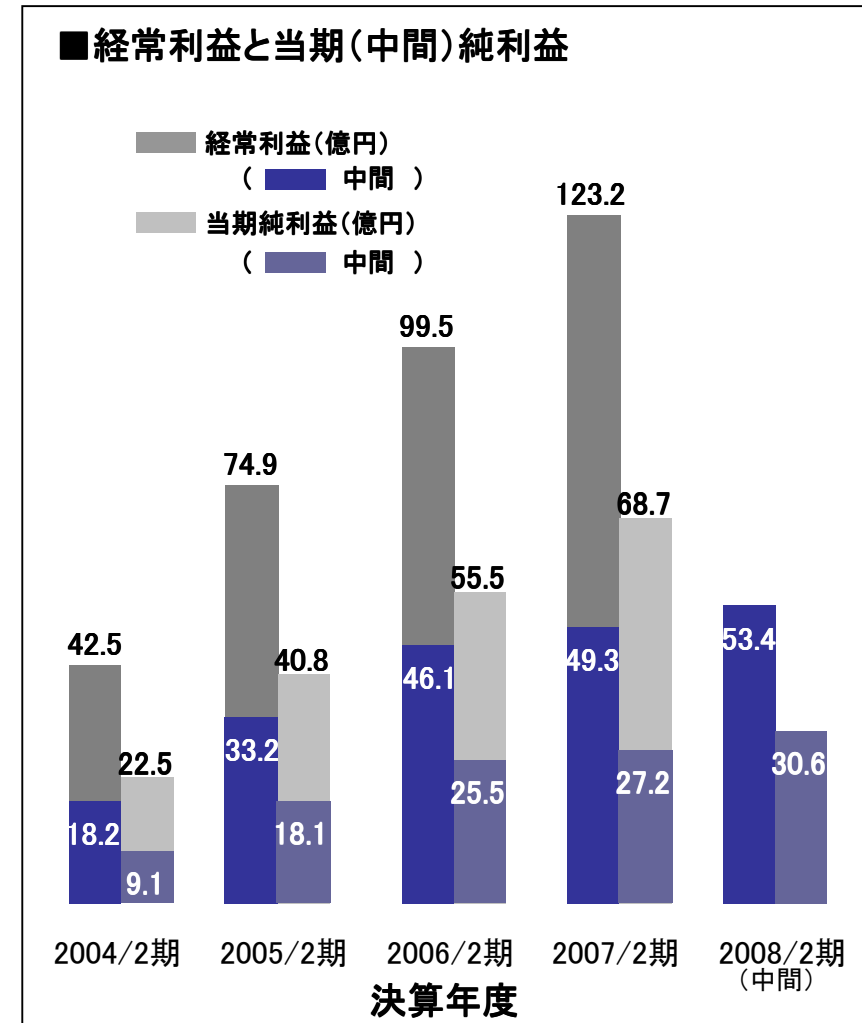
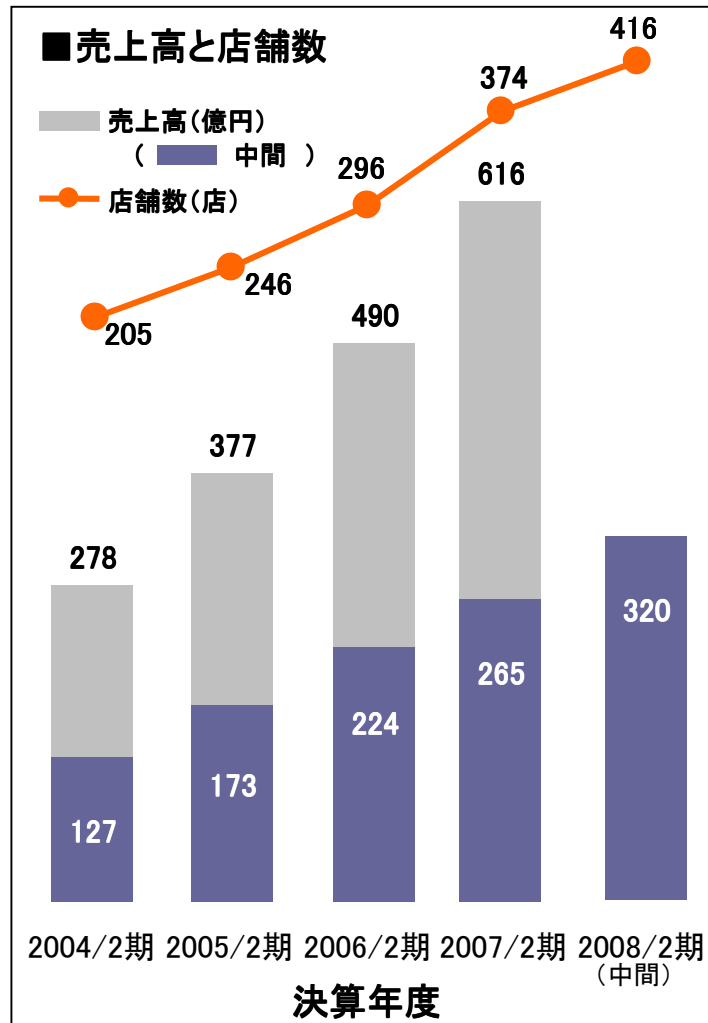
単位: 百万円	2007/2中間期		2008/2中間期		
		構成比		構成比	前中間期比
売上高	26,545	100.0%	32,077	100.0%	120.8%
売上総利益	16,048	60.5%	19,797	61.7%	123.4%
販管費	11,123	41.9%	14,493	45.2%	130.3%
経常利益	4,934	18.6%	5,348	16.7%	108.4%
特別損失	236	0.9%	252	0.8%	106.8%
中間純利益	2,720	10.2%	3,065	9.6%	112.7%

利益面は期初計画を達成

point

売上高と利益の状況

19

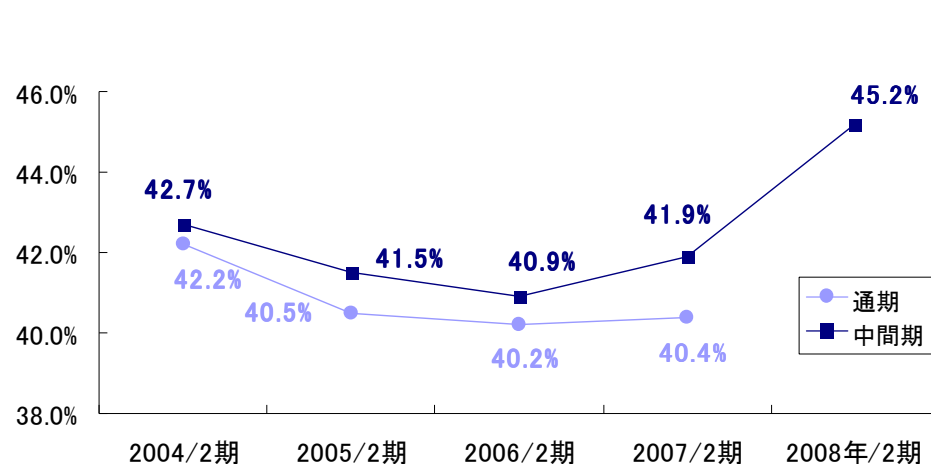


point

販売管理費の状況

20

販管費比率 **45.2%** 前年同期比**3.3**ポイント上昇



売上高比	04/2 (中間)	05/2 (中間)	06/2 (中間)	07/2 (中間)	08/2 (中間)
広告宣伝費	1.8%	2.1%	1.9%	2.2%	2.4%
人件費	15.8%	14.2%	13.8%	13.9%	15.1%
地代家賃	15.3%	15.1%	15.3%	15.2%	16.1%
リース料	2.2%	2.4%	2.4%	2.6%	3.0%
減価償却費	0.8%	0.6%	0.6%	0.7%	0.8%
その他	6.8%	7.1%	6.7%	7.3%	7.7%
合計	42.7%	41.5%	40.9%	41.9%	45.2%

主な変動要因

- ・ 広告宣伝は持続的な成長に向けて引き続き戦略的に実施
- ・ 人員確保に向けて新卒での採用を増加させ、中途採用も期初想定より前倒しで実施
- ・ 国内出店数が前年同期比24店舗増加したこともコストアップ要因

point

特別損失の状況

21

特別損失 **252**百万円 前中間期比 **106.8**%

退店5店舗

ロケーション検討の結果実施

改装15店舗

ローリーズファーム6店舗を
中心に実施

減損損失18百万円

減損処理対象1店舗

point

貸借対照表の主要項目

22

単位: 百万円	2007/2期		2008/2中間期		
		構成比		構成比	前期末比
総資産	34,377	100.0%	34,043	100.0%	99.0%
流動資産	22,543	65.6%	17,583	51.6%	78.0%
固定資産	11,834	34.4%	16,459	48.4%	139.1%
負債	14,830	43.1%	12,292	36.1%	82.9%
純資産	19,547	56.9%	21,751	63.9%	111.3%

主な変動要因

- ・出店に伴う保証金敷金増加(528百万円)
- ・一括支払信託受益権の購入残高664百万円
- ・有価証券投資3,994百万円

point

株主資本等変動計算書

23

単位:百万円	株主資本					評価・換算 差額等	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計			
2007年2月28日残高	2,660	2,517	18,746	△4,437	19,487	34	25	19,547
当中間期変動額								
剰余金の配当			△1,007		△1,007	—		△1,007
中間純利益			3,065		3,065	—		3,065
自己株式の取得				△0	△0	—		△0
自己株式の処分			△128	259	131	—		131
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					—	6	8	14
当中間期変動額合計	—	—	1,929	259	2,189	6	8	2,203
2007年8月31日残高	2,660	2,517	20,676	△4,177	21,676	40	33	21,751

point

キャッシュ・フロー計算書

24

単位: 百万円	2007/2期中間	2008/2期中間	
			増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	803	582	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,017	△5,044	△4,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△982	△1,409	△427
現金及び現金同等物の増減額	△1,196	△5,868	△4,672
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,675	11,141	△2,534
フリーキャッシュ・フロー	△214	△4,462	△4,249

主な変動要因

- ・投資活動CFのマイナスは有価証券投資3,994百万円
- ・財務活動CFのマイナスは有利子負債の圧縮

point

単位: 百万円	上期実績	下期予定	通期見込	期首計画
店舗関係	809	1,300	2,109	2,700
その他	90	400	490	580
計	899	1,700	2,599	3,280

下期も積極的な店舗展開・改装を計画

- ・出店45店舗(含む台湾1店舗、除くEコマース店舗6店舗)
- ・改装35店舗を予定
- ・その他は主にEコマース関連投資180百万円と情報システム関連投資

point

単位: 百万円	2007/2中間期		2008/2中間期		
		構成比		構成比	前中間期比
売上高	296	100.0%	322	100.0%	108.8%
営業利益	31	10.7%	42	13.0%	135.5%
経常利益	31	10.5%	42	13.0%	135.5%
中間純利益	18	6.3%	24	7.5%	133.3%

一層の効率化により利益率改善

- ・5月から新物流センター(茨城県岩間、賃借)をスタートし一層効率化
- ・Eコマースの対応準備も完了

point

波茵特股份有限公司の状況(台湾子会社)

27

単位: 百万円	2006/12中間期		2007/12中間期		
		構成比		構成比	前中間期比
売上高	283	100.0%	394	100.0%	139.2%
営業利益	27	9.6%	67	17.0%	248.1%
経常利益	26	9.3%	68	17.3%	261.5%
中間純利益	14	5.2%	45	11.4%	321.4%
期末店舗数	11	—	12	—	1店舗増

業績は順調に推移

ローリーズファームで1店舗出店、1店舗退店

point

2008年2月期見込み

28

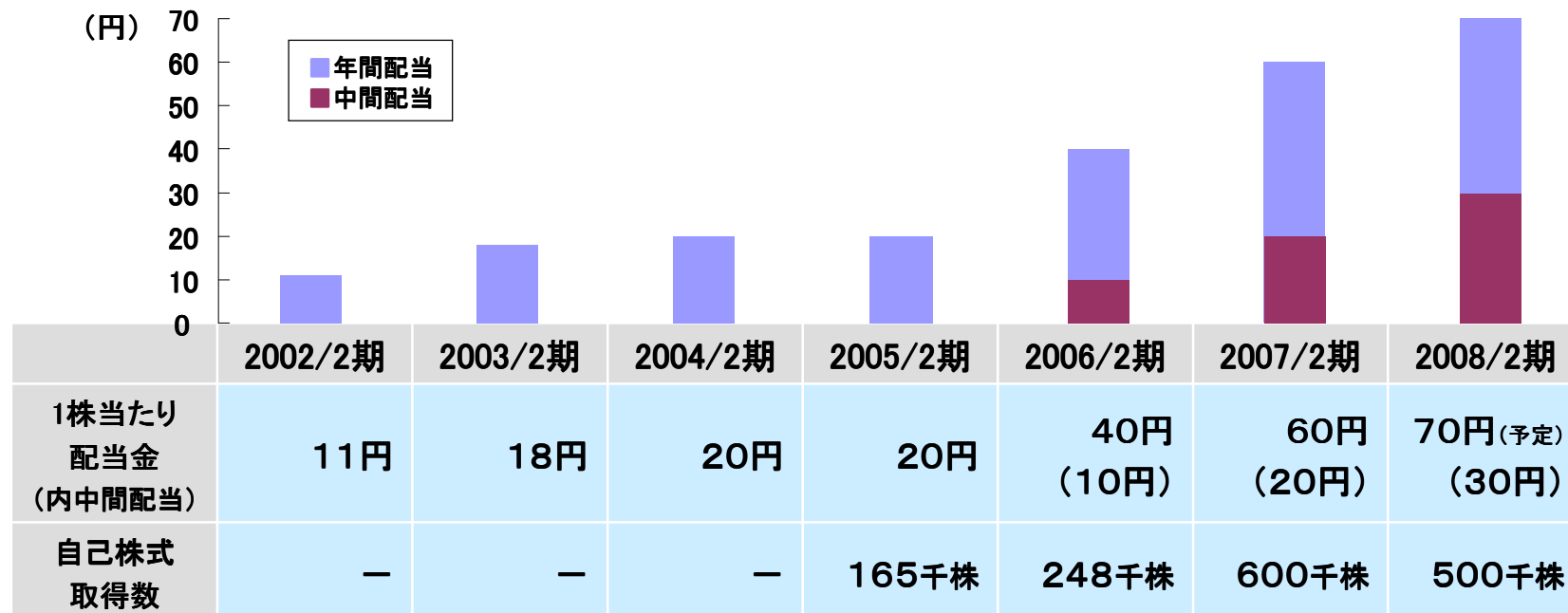
単位:百万円	2007/2期		2008/2期計画(当初)			2008/2期計画(修正)		
		構成比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	61,650	100.0%	71,700	100.0%	116.3%	72,700	100.0%	117.9%
売上総利益	37,167	60.3%	43,500	60.7%	117.0%	44,500	61.2%	119.7%
販管費	24,880	40.4%	30,400	42.4%	122.2%	31,300	43.1%	125.8%
経常利益	12,324	20.0%	13,100	18.3%	106.3%	13,200	18.2%	107.1%
当期純利益	6,877	11.2%	7,200	10.0%	104.7%	7,300	10.0%	106.1%
店舗数	374	—	464	—	90店増	466		92店増

下期計画の説明

- ・出店51店舗(台湾1店舗、Eコマース店舗6店舗含む)、退店1店舗、改装35店舗
- ・国内既存店売上前年同期比98.0%(期初前提と変わらず) ※出退店のうち各1店舗は業態変更
- ・新店前倒し確定とEコマースの予算化により、売上高は上方修正
- ・販管費は期初計画費+7億円(新店前倒し2億、Eコマース3億、人件費2億)

point

1. 事業への投資を最優先に行い、企業価値の向上を図ります
2. 安定配当を基本とし、収益状況等を踏まえ、増配を検討します
3. 利益還元の一つとして自己株式購入を適切且つ機動的に行ってまいります



point